

子どもを産み育てやすい環境整備のためのアンケート調査結果報告書

◆ アンケート概要

○目的

平成30年度に「栃木市産科等開設検討会」において協議した内容を基に、子育て中の方を対象としたアンケートを実施し、子どもを産み育てやすい環境整備のための資料とする。

○対象者及び依頼・回収方法

出産後の4か月・9か月・1歳6か月児健診、2歳児歯科健診受診者の母親を対象とし、健診の案内通知に同封し健診受付で回収。(配付数1,737通)

○調査期間

令和元年6月から令和元年11月末

○回収率

81.8% (回収数 1,421 通 / 発送数 1,737 通)

○回答者情報

● 住所

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	未記入	合計
人数(人)	747	312	89	102	33	131	7	1421
割合(%)	52.6	22.0	6.3	7.2	2.3	9.2	0.5	100.0

● 年齢

	10代	20代	30代	40代	未記入	合計
人数(人)	8	410	822	115	66	1421
割合(%)	0.6	28.9	57.8	8.1	4.6	100.0

● 出産回数

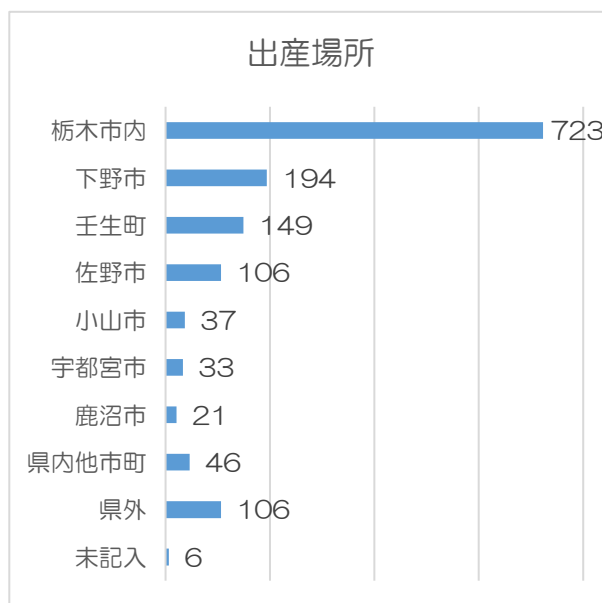
	1回	2回	3回以上	未記入	合計
人数(人)	621	546	239	15	1421
割合(%)	43.7	38.4	16.8	1.1	100.0

1 出産場所はどこですか。

出産場所としては、栃木市内が50.9%と過半数を超え、次いで下野市（13.7%）、壬生町（10.5%）、佐野市（7.5%）の順となり、小山市（2.6%）、鹿沼市（1.5%）を含めた近隣市町で、86.7%の方が出産していることが分かりました。

出産場所

	人数(人)	割合(割合)
栃木市内	723	50.9
下野市	194	13.7
壬生町	149	10.5
佐野市	106	7.5
小山市	37	2.6
宇都宮市	33	2.3
鹿沼市	21	1.5
県内各市町	46	3.2
県外	106	7.5
未記入	6	0.4
合計	1421	100.0



里帰り出産でしたか。

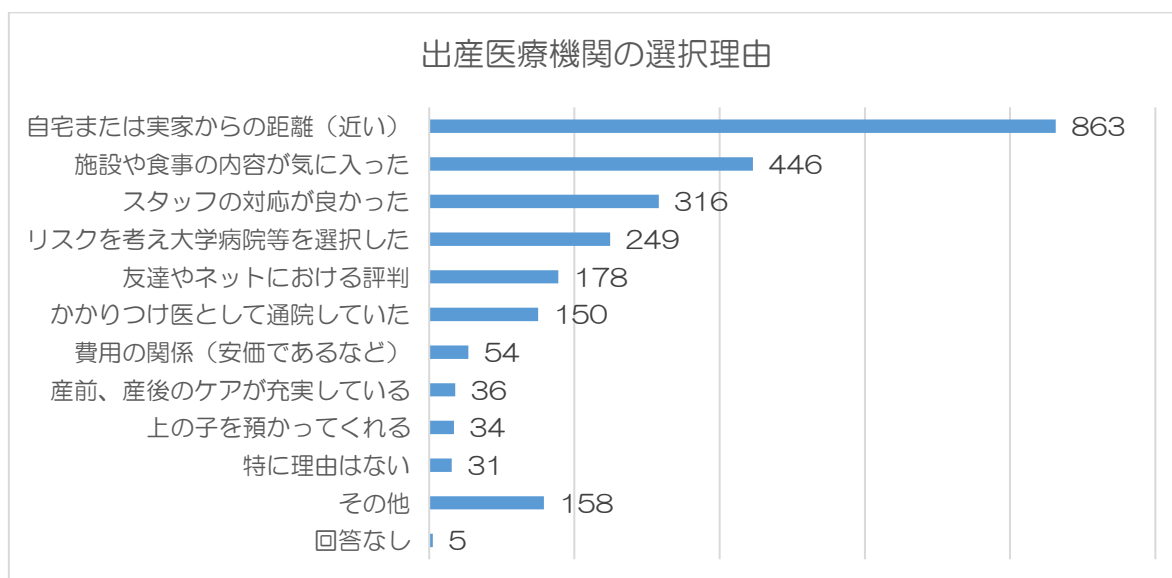
	人数(人)	割合(%)
いいえ	1066	75.0
はい	310	21.8
未記入	45	3.2
合計	1421	100.0

助産院での出産でしたか。

	人数(人)	割合(%)
いいえ	1225	86.2
はい	91	6.4
未記入	105	7.4
合計	1421	100.0

2 出産した医院（病院）等を選んだ理由は。（上位2つまで選んでください。）

自宅または実家からの距離（近い）で選んだ方が最も多く、次いで施設や食事の内容が気に入った、スタッフの対応が良かったからとの順となり、費用や産前・産後ケア、上の子を預かってくれるなどのサービスで選んでいる割合は少ないとの結果となりました。



3 希望する医院（病院）等で出産できましたか。

89.9%の方が、希望する医療機関で出産できたとの結果となりました。

また、出来なかった方の多くは、「（妊娠高血圧症候群など）出産にリスクが伴う事情ができた」、「（通常の産院では取り扱わない）双子の出産だった」などの理由で、希望していなかった大学病院等で出産したことが分かりました。

	人数(人)	割合(%)
できた	1277	89.9
できなかった	123	8.7
どちらでもない	1	0.1
未記入	20	1.4
合計	1421	100.0

「できなかった」と回答した方の主な理由

- 出産にリスクが伴う事情ができた
- 転院となった
- 双子の出産
- 選択できるほど近くに産科がない
- 費用が高い

4 出産した医院（病院）等の満足度を教えてください。

出産医療機関の満足度は、「大変満足」、「満足」を合わせると78.6%、「やや満足」まで合わせると90.8%の方が満足と回答しました。

「満足」と回答した方の主な理由は、担当医、スタッフの対応が良かった、体の様子を見ながら授乳指導してくれたなどで、逆に「不満」と回答した方の主な理由は、混雑していて待ち時間も長い、助産師の人数が少なく対応が悪かったなどでした。

	人数(人)	割合(%)
大変満足	539	37.9
満足	579	40.7
やや満足	172	12.1
やや不満	59	4.2
不満	23	1.6
未記入	49	3.4
合計	1421	100.0

「満足」と回答した方の主な理由

- 担当医、スタッフの対応が良かった
- 体の様子を見ながら授乳指導してくれた
- 病院設備が充実していた
- 上の子についても病院が対応してくれた

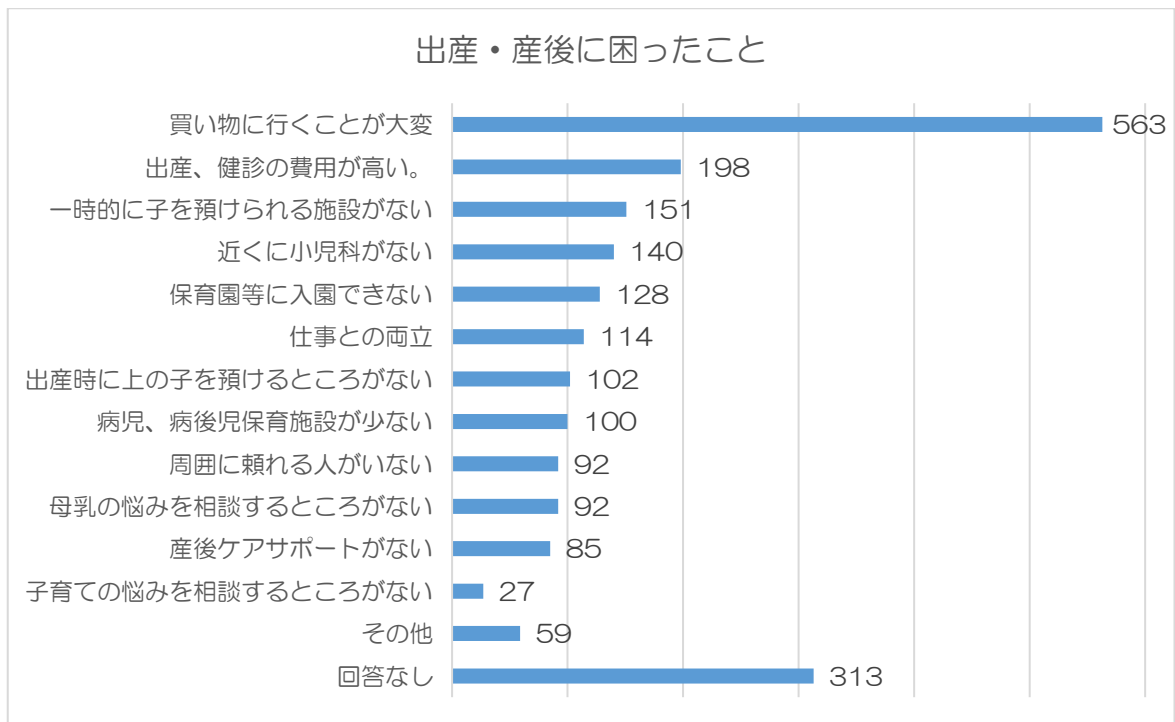
「不満」と回答した方の主な理由

- 混雑していて待ち時間も長い
- 助産師の人数が少なく対応が悪かった
- スタッフ、施設設備を含め病院の対応が良くなかった
- 出産費用が高かった
- 自分の希望が通らないことがあった

5 出産、産後で困ったことはありますか。（上位2つまで選んでください。）

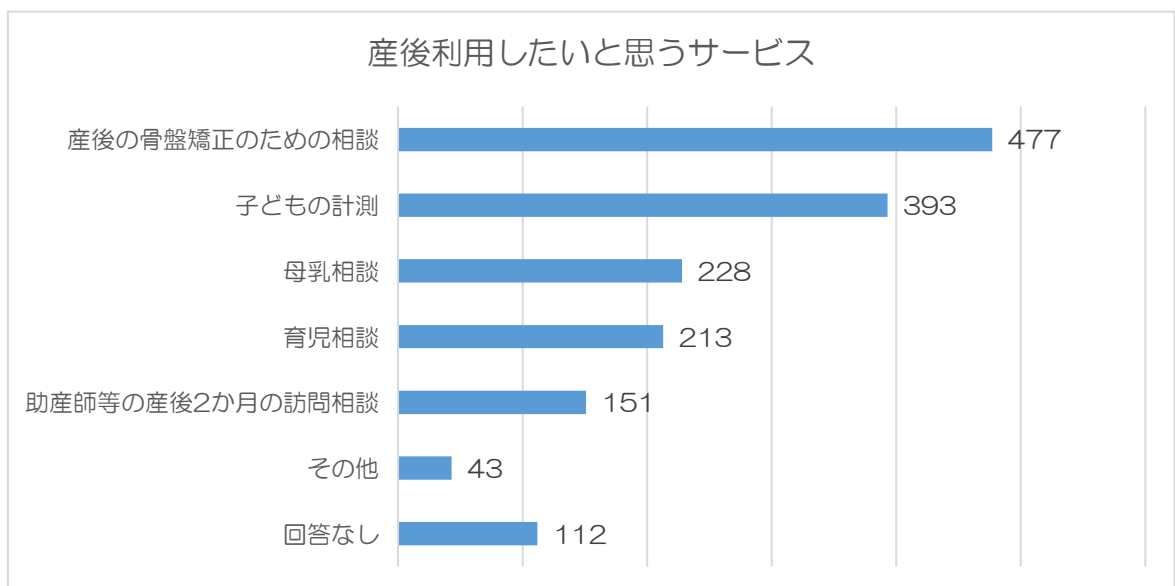
出産、産後で困ったことは、「買い物に行くことが大変」が圧倒的に多く、次いで「出産や健診の費用が高い」、「一時的に子どもを預けられる施設がない」となりました。

この結果から、核家族化が進み同居家族の支援が受けられない中、乳児を抱えて買い物に困っている方の多いことが分かりました。



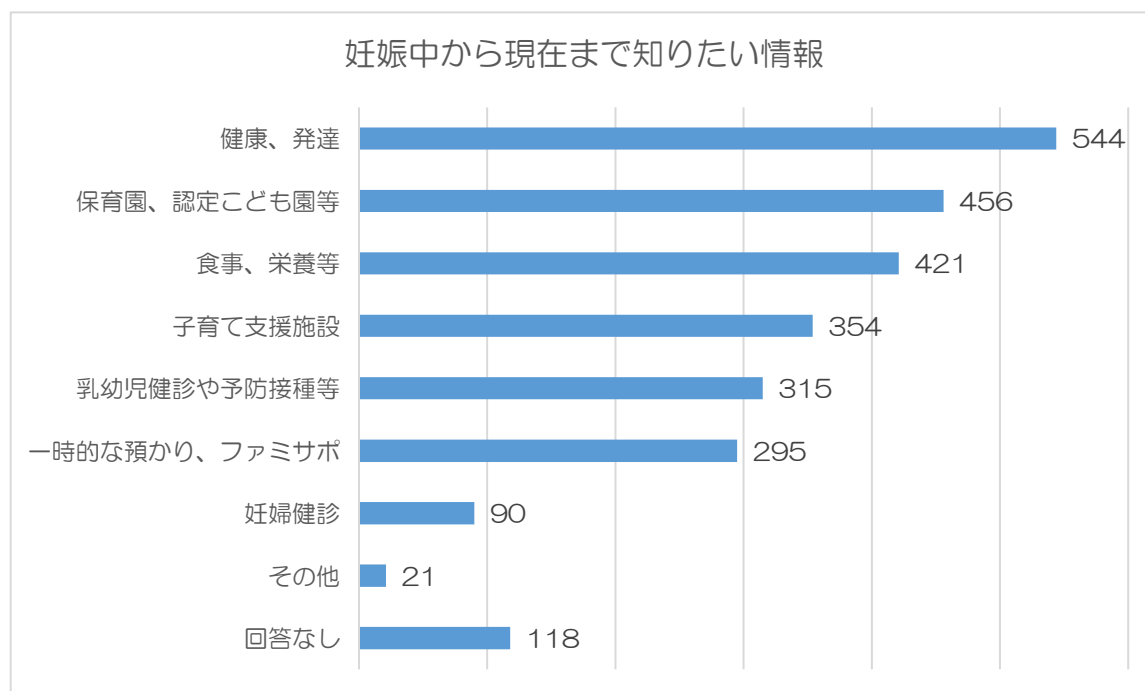
6 出産～産後6か月までに利用したいと思うサービスは何ですか。(1つ選んでください。)

出産～産後6か月までに利用したいと思うサービスでは、「産後の骨盤矯正のための相談」が最も多く、次いで「子どもの計測」、「母乳相談」、「育児相談」と続き、自身の体や育児に関する相談業務のニーズが高いことが分かりました。



7 妊娠期から現在までの期間、どのような情報を知りたいですか。(上位2つまで選んでください。)

妊娠期から現在までの期間で知りたい情報は、「健康や発達に関する情報」が最も多く、次いで「保育園や認定こども園に関する情報」、「食事や栄養に関する情報」となりました。

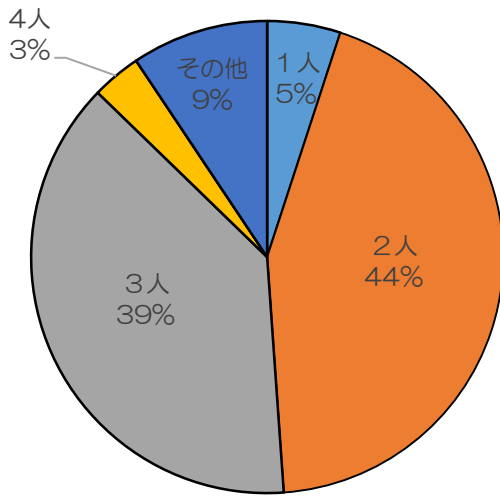


8 欲しいと思う子どもの人数について伺います。

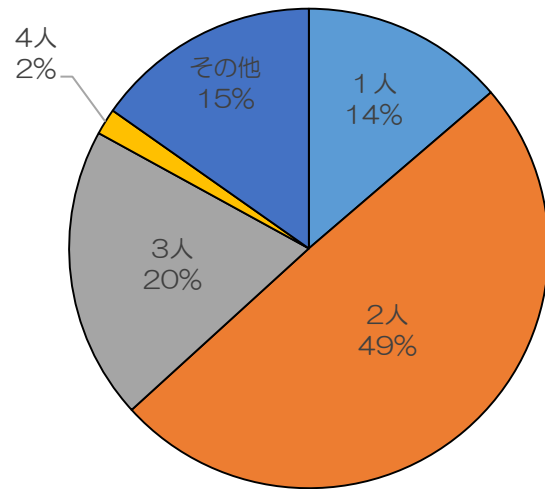
欲しいと思う子どもの人数は、2人が44%と最も多く、次いで3人の39%となりました。今後出産を計画している子どもの人数では、2人が49%と最も多く、次いで3人の20%となり、欲しいと思う子どもの人数と比較すると、1人の割合が5%から14%、2人が44%から49%へと増加し、逆に3人の割合が39%から20%へと大きく減少する結果となりました。

欲しいと思う子どもの人数より少ない理由としては、「子育ての経済的負担」が最も多く、次いで「収入が少ない」、「年齢や健康上の問題」との意見が多い結果となりました。

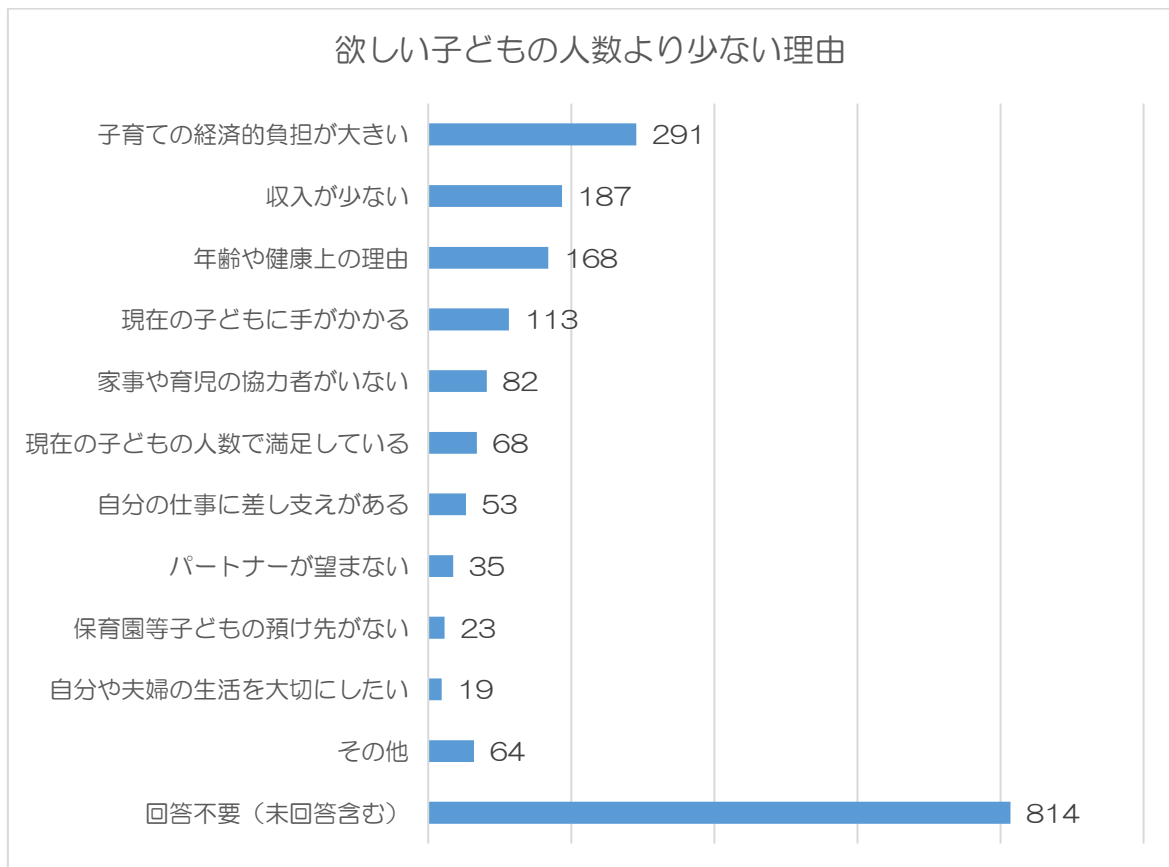
欲しいと思う子どもの人数



今後出産を計画している子どもを含めた子どもの人数

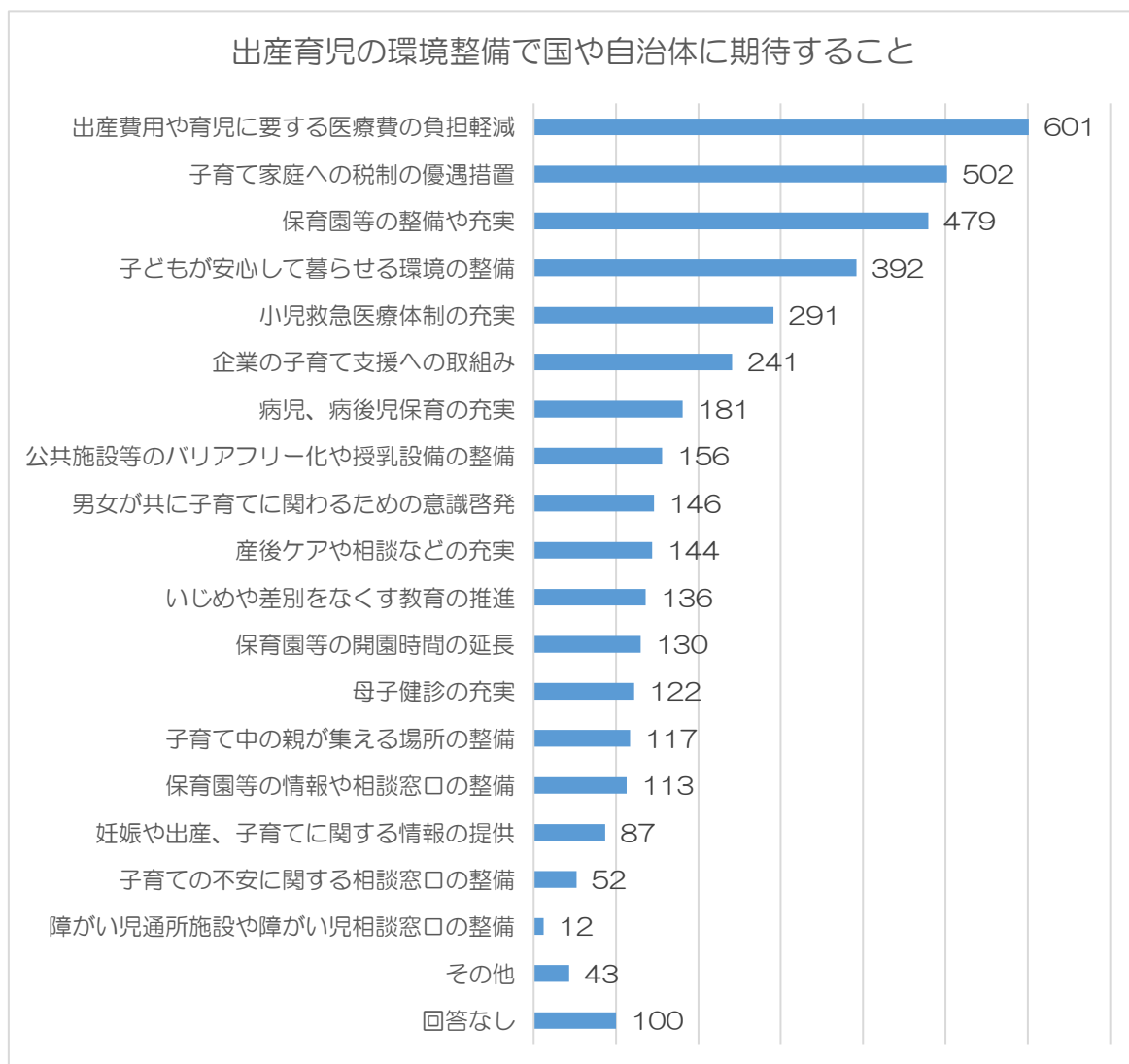


欲しいと思う子どもの人数よりも少ない理由は。(上位2つまで選んでください。)



9 子どもを産み育てやすい環境整備のためには、国や自治体にどのようなことを期待しますか。（上位3つまで選んでください。）

出産や育児の環境整備で国や自治体に期待することは、「出産費用や育児に要する医療費の負担軽減」が最も多く、次いで「子育て家庭への税制の優遇措置」、「保育園等の整備や充実」となりました。



今後の方針

今回のアンケート結果から、産婦の必要としている情報、サービスを把握することができました。様々な要望がある中で、市としてどのような情報・サービスを提供できるか、研究するとともに、皆様から寄せられたご意見を子どもを産み育てやすいまちづくりに役立ててまいります。